	年 月	諮問∙答申	諮 問・答 申 内 容
学区調査研究協議会	平成元年 2月平成 3年 3月	諮問 答申	●「全市的な適正通学区域の長期的な将来見通しに立った見直しについて」の取り組み手法について ○全市的な見直しを行うにあたって概ね3~4の中学校を単位とし ゾーニングの設定を行う [Aゾーン] 聖ヶ丘中・諏訪中・西永山中・永山中 [Bゾーン] 貝取中・豊ヶ丘中 [Cゾーン] 東落合中・西落合中・鶴牧中 [Dゾーン] 多摩中・和田中・東愛宕中
	平成 3年 4月 平成 5年 5月 平成 6年 7月 平成 7年 3月	諮問 第一次答申 第二次答申 第三次答申	●Aゾーンとした地域の適正な通学区域について 〇聖ヶ丘1丁目の一部の通学区域を変更 〇中諏訪小と南諏訪小を統合(平成6年4月) 〇聖ヶ丘・馬引沢・諏訪地区の通学区域を変更 〇東永山小と北永山小を統合(平成8年4月) 〇南永山小と西永山小を統合(平成8年4月) 〇永山地区の一部の通学区域を変更(平成8年4月) 〇永山中と西永山中を統合(平成9年4月)
	平成 7年 7月 平成 9年12月 平成10年 3月	諮問 第一次答申 第二次答申	●B・Cゾーンとした地域の適正な通学区域について 〇豊ヶ丘・鶴牧地区の一部の通学区域を変更(平成10年4月) 〇豊ヶ丘・落合・鶴牧地区の一部の通学区域を変更 (平成11年4月) ○南落合小と北落合小を統合(平成11年4月) ○西落合中と東落合中を統合(平成12年4月)
	平成10年 9月 平成12年11月	常問 答申	●Dゾーンとした地域の適正な通学区域について 〇現在の通学区域を維持することとする
一定規模及び適正配置等に関する審議会	平成15年 7月 平成16年 4月 平成17年 6月	諮問 中間答申 答申	●多摩市立小・中学校の一定規模及び適正配置に対する基本的 考え方について 〇一定規模の基本的考え方について 〇適正配置の基本的考え方 〇一定規模及び適正配置の実現に向けて
	平成17年10月	答申[最優先校]	●下記の学校の通学区域の見直しについて [最優先校] 竜ヶ峰小・多摩第二小、豊ヶ丘中・貝取中 [最優先校に準ずる学校] 南豊ヶ丘小、南貝取小、北豊ヶ丘小、北貝取小 〇豊ヶ丘中と貝取中を統合(平成20年4月) ○竜ヶ峰小と多摩第二小を統合(平成21年4月) たりまする学校]
	平成19年10月平成19年12月	再諮問 答申 [最優先校に 準ずる学校]	[最優先校に準ずる学校] 南豊ヶ丘小、南貝取小、北豊ヶ丘小、北貝取小 〇4つの案を検討対象とする